

OS名 ※4	Edition	動作確認済 Service Pack	統合 マネージャ	サブ マネージャ	エージェント (MR) ※12	Windows用サーバ エージェント (SA) ※7	NetApp用サーバ エージェント (SAE) ※15	検知 エージェント (DA) ※13	統合 コンソール	Webコンソール (サーバー)	Webコンソール (クライアント)
Windows Server 2008 R2 ※6 ※11 ※14	Standard x64 Edition	SP1	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	Enterprise x64 Edition	SP1	○	○	○※2	○※2	○	○	○	○	○
Windows Server 2008 ※6 ※11	Standard (x86, x64)	SP1 SP2	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	Enterprise (x86, x64)	SP1 SP2	○	○	○※2	○※2	○	○	○	○	○
Windows Storage Server 2008 ※14 ※16	Standard (x86)	SP2	×	×	○	○	×	○	×	×	○
Windows Storage Server 2008 R2 ※14 ※16	Standard x64 Edition	SP1	×	×	○	○	×	○	×	×	○
Windows Server 2003 ※6	Standard Edition	SP1 SP2	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	Enterprise Edition	SP1 SP2	○	○	○※2	○※2	○	○	○	○	○
	Standard x64 Edition	SP2	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	Enterprise x64 Edition	SP2	○	○	○※2	○※2	○	○	○	○	○
Windows Server 2003 R2 ※6	Standard Edition	SP2	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	Enterprise Edition	SP2	○	○	○※2	○※2	○	○	○	○	○
	Standard x64 Edition	SP2	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	Enterprise x64 Edition	SP2	○	○	○※2	○※2	○	○	○	○	○
Windows Small Business Server 2003	Standard Edition	SP1 SP2	○※1	○※1	○	○	○	○	○	○※1	○
	Premium Edition	SP1 SP2	○※1	○※1	○	○	○	○	○	○※1	○
Windows Small Business Server 2003 R2	Standard Edition	SP2	○※1	○※1	○	○	○	○	○	○※1	○
	Premium Edition	SP2	○※1	○※1	○	○	○	○	○	○※1	○
Windows Storage Server 2003	—	SP1 SP2	×	×	○	○	○	○	×	×	○
Windows Storage Server 2003 R2	—	SP2	×	×	○※10	○	○	○	×	×	○
Windows 2000	Professional	SP1 SP2 SP3 SP4	×	×	○	○	×	○	○	○	○
	Server	SP1 SP2 SP3 SP4	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	Advanced Server	SP1 SP2 SP3 SP4	○	○	○※2	○※2	○	○	○	○	○
Windows Powered NAS	—	—	×	×	○	○	×	○	×	○	
Windows NT	Workstation 4.0	SP4 SP5 SP6a	×	×	○	○	×	×	○※3	○※3	○
	Server 4.0	SP4 SP5 SP6a	○※3	○※3	○	○	×	×	○※3	○※3	○
Windows 7 ※14	Enterprise (x86, x64)	SP1	×	×	○	×	×	○	○	×	○
	Ultimate (x86, x64)	SP1	×	×	○	×	×	○	○	×	○
	Professional (x86, x64)	SP1	×	×	○	×	×	○	○	×	○
Windows Vista ※5	Home Basic	—	×	×	×	×	×	×	×	×	×
	Home Premium	—	×	×	×	×	×	×	×	×	×
	Business	SP1 SP2	×	×	○	×	×	○	○	×	○
	Enterprise	SP1 SP2	×	×	○	×	×	○	○	×	○
	Ultimate	SP1 SP2	×	×	○	×	×	○	○	×	○
	Business 64-bit edition	SP1 SP2	×	×	○	×	×	○	○	×	○
	Enterprise 64-bit edition	SP1 SP2	×	×	○	×	×	○	○	×	○
	Ultimate 64-bit edition	SP1 SP2	×	×	○	×	×	○	○	×	○
Windows XP ※8	Home Edition	—	×	×	×	×	×	×	×	×	×
	Professional	SP1 SP2 SP3	×	×	○	○	×	○	○	×	○
	Media Center Edition	—	×	×	×	×	×	×	×	×	×
	Tablet PC Edition	—	×	×	×	×	×	×	×	×	×
	Professional x64 Edition	SP2	×	×	○	○	×	○	○	×	○
Windows Me ※9	—	—	×	×	×	×	×	×	×	×	
Windows 98	Second Edition	—	×	○	×	×	×	×	×	○	
Windows 95 ※9	—	—	×	×	×	×	×	×	×	×	

※1 ..... プレインストール済みの MSDE または SQL Server および SharePoint Server をアンインストールしてから、LanScope Cat用のデータベースをインストールすることで利用できます。  
 ※2 ..... MSCS (Microsoft Cluster Server) にはWindows2000,2003のエージェント(MR)とサーバエージェント(SA)が対応しています。MSFC(Microsoft Failover Cluster)には対応していません。  
 ※3 ..... マネージャサーバ、統合コンソールを Windows NT 4.0 で構築する場合は、Service Pack 6a を適用してください。  
 ※4 ..... 上記の対応OS (MR・SA・DA以外) は日本語版のみ対応しております。エージェント(MR・SA・DA)は、英語版OSに対応しており、日本語OSの対応状況に準拠しています。  
 ※5 ..... Ver6.0.0よりWindows Vista Service Pack1に対応しています。Ver6.3.0よりWindows Vista Service Pack2に対応しています。  
 ※6 ..... Itanium-based Systemsには対応していません。SharePoint Servicesとは同居できません。インストールしないでください。  
 ※7 ..... サーバエージェントで対応しているファイルシステムはNTFS形式です。FAT形式には対応していません。  
 ※8 ..... Ver6.0.0よりWindows XP Service Pack3 に対応しています。  
 ※9 ..... Windows 95 および Windows Meにつきましても、サポート対象外です。

※10 ..... Ver6.0.3.1のエージェント(MR)よりWindows Storage Server 2003 R2 に対応しています。  
 ※11 ..... Oracle Database 10g Express Edition Release2はWindows Server 2008に対応していません。Ver6.2.0よりWindows Server 2008 Service Pack1 に対応しています。Ver6.3.0よりWindows Server 2008 Service Pack2 に対応しています。Windows Server 2008のServer Core インストールには対応していません。プレインストールしてご利用ください。  
 ※12 ..... Webアップロードログの対応OSは、Windows 2000, Windows XP(32bit)です。  
 ※13 ..... 検知エージェント(DA)は、Ver6.5.0よりWindows XP(x64)、Windows Server 2003 (x64)、Windows Vista、Windows Server 2008、Windows 7、Windows Server 2008 R2に対応しています。  
 ※14 ..... Windows7 SP1にはVer6.6.0より対応しています。また検知エージェント(DA)、Windows用サーバエージェント(SA)はVer6.6.0よりWindows Server 2008 R2 SP1、windows7 SP1、Windows Storage Server 2008 SP2、Windows Storage Server 2008 R2 SP1Iに対応しております。  
 ※15 ..... Ver6.6.0.0から対応しております。  
 ※16 ..... エージェント(MR)はVer6.7.0からWindows Server 2008 R2 SP1、Windows Storage Server 2008 SP2、Windows Storage Server 2008 R2 SP1Iに対応しております。

LanScope Cat データベース対応表

データベース/OS	Service Pack	Windows NT	Windows 2000	Windows 2003	Windows 2008	Windows 2003 x64	Windows 2008 x64	Windows 2008 R2 x64
SQL Server 2008 R2 Standard Edition x64	SP1	-	-	-	-	○	○	○
SQL Server 2008 R2 Standard Edition	SP1	-	-	○	○	○	○	○
SQL Server 2008 R2 Express Edition x64	SP1	-	-	-	-	○	○	○
SQL Server 2008 R2 Express Edition	SP1	-	-	○	○	○	○	○
SQL Server 2008 Standard Edition x64	SP1/2	-	-	-	-	○	○	○
SQL Server 2008 Standard Edition	SP1/2	-	-	○	○	○	○	○
SQL Server 2008 Express Edition x64	SP1/2	-	-	-	-	○	○	○
SQL Server 2008 Express Edition	SP1/2	-	-	○	○	○	○	○
SQL Server 2005 Standard Edition x64	SP3/4	-	-	-	-	○	○	○
SQL Server 2005 Standard Edition	SP2/3/4	-	○	○	○	○	○	○
SQL Server 2005 Express Edition	SP2/3/4	-	○	○	○	○	○	○
SQL Server 2000	SP3a/4	○	○	○	-	○	-	-
MSDE 2000	SP3a/4	○	○	○	-	○	-	-
SQL Server 7	SP4	○	○	-	-	-	-	-
MSDE 1.0	SP4	○	○	-	-	-	-	-

SQL Server 2005 Standard Edition、SQL Server 2005 Express EditionのSP4には、Ver6.6.0.0より対応しています。  
 SQL Server 2008 Standard Edition、SQL Server 2008 Express EditionのSP2には、Ver6.6.0.0より対応しております。  
 SQL Server 2008 R2 Standard Edition、SQL Server 2008 R2 Express Editionには、Ver6.7.0.0より対応しております。

〈SQL Server/MSDE のServicePack バージョン確認方法〉

- SQL ServerもしくはMSDEがインストールされているマシン上でコマンドプロンプトを起動します。
- 以下のコマンド文を実行してください。

```
osql -E
1> select @@version
2> go
```

- 実行後、以下のような結果が返ってきます。

```
例) Microsoft SQL Server 2000 - 8.00.760 (Intel X86)
Dec 17 2002 14:22:05
Copyright (c) 1988-2003 Microsoft Corporation
Standard Edition on Windows NT
5.1 (Build 2600: Service Pack 2)
```

- 上記3.の「8.00.760」に着目してください。この値でデータベースのバージョンが確認できます。以下の表をご参照ください。また、SQL Server 2000/MSDE 2000は、バージョン8.00.760、8.00.2039の適用が、SQL Server 2005は9.00.3042、9.00.4035の適用が推奨環境となります。

データベース	Service Pack	-
SQL Server 2008 R2	SP1	10.50.2500.0
SQL Server 2008	SP1	10.0.2531.0
	SP2	10.0.4000.0
SQL Server 2005	SP2	9.00.3042.00
	SP3	9.00.4035.00
	SP4	9.00.5000.00
SQL Server 2000 MSDE 2000	SP1	8.00.384
	SP2	8.00.534
	SP3	8.00.760
	SP3a	8.00.760
	SP4	8.00.2039
SQL Server 7.0 MSDE 1.0	SP1	7.00.699
	SP2	7.00.842
	SP3	7.00.961
	SP4	7.00.1063

〈MSDE2000 SP4 適用時の注意点〉

MSDE2000のSP4インストール前にディスクにアーカイブファイルを展開した後、そのままSETUP.EXEを実行すると「指定されたインスタンス名が無効です。」とエラーメッセージが表示され、インストールが終了してしまう場合があります。

その際は、コマンドプロンプトを起動し、以下のコマンド文を入力してSP4を適用してください。  
 コマンド実行後、インストールが始まります。

- ① コマンドプロンプトの画面で「chdir C:\sql2ksp4\MSDE」というコマンドを入力してエンターを押します。  
 (初期設定で「C:\Documents and Settings\Administrator」などと表示されている場合があるので、「C:\sql2ksp4\MSDE」に変更する作業です。)  
 \*「chdir」のあとには「sql2ksp4」がインストールされているドライブとパスを入力してください。
- ② その次に「SETUP /upgradesp c:\sql2ksp4\msde\setup\sqlrun01.msi sapwd="motex"」を入力してエンターを押すことでSP4のセットアップが始まります。  
 \*saのパスワードがブランクの場合は、②の記載が変わります。  
 「SETUP /upgradesp c:\sql2ksp4\msde\setup\sqlrun01.msi blanksapwd=1」  
 というように「sapwd="motex"」が「blanksapwd=1」となります。

以上となります。